

学校園訪問レポート

年月日	令和4年2月18日（金） 10:00～13:00		
訪問委員	川本教育委員	随行者	山下中学校給食担当課長

訪問先	訪問内容	学校の特徴・課題等	委員感想・意見
松ヶ丘 小学校	北迫校長 と面談 授業参観	<p>〔学校の概要〕 ○児童総数334名(令和3年5月1日現在)：1年生43名(2クラス)、2年生40名(2クラス)、3年生60名(2クラス)、4年生56名(2クラス)、5年生62名(2クラス)、6年生63名(2クラス)、特別支援10名(2クラス)</p> <p>〔学校の特徴・課題等〕 ○今年で54周年を迎える。「共に育つ学校」を学校教育目標にしている。 ○児童数は、かつては1,000人規模であったが現時点では344人。生活保護率・就学援助率が高い地域で、親の離婚やDV等、家庭に課題を抱えた児童もいる。 ○寺社のない地域のため小学校が地域のセンターの役割を担っている。それがコミュニティスクールのモデル校になった要因でもある。 ○PTAの減少は危惧している。1年生の加入率は約半分。将来的にはPTAがなくとも松ヶ丘フレンド(ボランティア)で支えていければと考えている。 ○研究については総合を中心に行っている。きっかけは6年生の松ヶ丘サミット及び松ヶ丘プロジェクト。地域はコロナ禍でコミュニケーションの機会が減り寂しい方がある。そこで地域の方と交流し意見をよく聞いて自分たちの考えたことをやってみようとした。 ○6年生のやってきたことに1～5年生がどのように取組みを積み上げて関わるかを考えて学年毎にカリキュラムマップを作っている。</p>	当日報告
朝霧 中学校	吉田校長 と面談 授業参観	<p>〔学校の概要〕 ○生徒総数499名(令和3年5月1日現在)：1年生167名(5クラス)、2年生165名(5クラス)、3年生161名(5クラス)、特別支援6名(3クラス)</p> <p>〔学校の特徴・課題等〕 ○新たな制服の導入について ・きっかけは明石市が多様な性への理解を進める取組をしていることや、現在の制服は古く50年前からのものだったことによる。 ・アンケートで選ばれた4業者がプレゼンを行い、生徒、保護者、教師による選定を経て決定。 ・保護者は洗濯の容易性や衛生面、機能性を重視。洗濯機で洗え、抗菌素材で汗をかいても臭わない素材のものが選ばれている。 ・生徒はもっと奇抜なものを選ぶと想定していたが意外とまじめなものになった。 ○新たな校則の導入について ・校則を定める会議には公募した保護者も出席した。保護者と生徒が意見し合う場面もあった。 ・靴の色が白限定から無指定になったことで学校以外でも使いやすくなり靴を大事に使うようになった。その方が経済的でもある。 ○PTA加入は任意、7割弱が加入している。役員はまず立候補を募り、それがなければ全員を対象にした抽選で決定している。</p>	

松ヶ丘 小学校	 <p>【校長と面談】</p>	 <p>【授業を参観】</p>
朝霧 中学校	 <p>【校長より制服の説明】</p>	 <p>【給食を参観】</p>